

# 情報連絡員報告総括表(平成28年9月分)

三重県中小企業団体中央会  
連絡員総数 40名  
回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況								
		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化						
製 造 業	食 料 品	1	3			4		1	3			4			3	1		3	1		3	1		4			3	1						
	織 維 工 業		1	2		3			3			3			2	1		3			3			3			2	1						
	木 材 ・ 木 製 品			1		1			1				1			1		1				1		1				1						
	紙 ・ 紙 加 工 品			2		2			2			2				2		2				2		2			1	1						
	印 刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1							
	化 学 ・ ゴ ム																																	
	窯 業 ・ 土 石 製 品	1		2		2	1		3			3			2	1		3		1	1	1	1	2			2	1						
	鉄 鋼 ・ 金 属	1				1			1			1		1				1			1			1			1							
	一 般 機 器	1	1	1	1	1	1		3			3		1		2		3			2	1	1	2			2	1						
	電 気 機 器			1		1				1			1			1			1			1		1				1						
	輸 送 機 器			1		1			1			1				1			1			1		1			1							
	そ の 他																																	
小 計		4	6	10	1	17	2	1	18	1		18	2	2	8	10		17	3	1	11	8	2	18			13	7						
非 製 造 業	卸 売 業		1	1		1	1		1	1		2			1	1		2		X				2			1	1						
	小 売 業		2	4		5	1	3	3			4	2		2	4		3	3					5	1		3	3						
	商 店 街		1			1			1			1				1		1						1			1			1				
	サ ー ビ ス 業		4	1	X				5			4	1		4	1		4	1					5			5			5				
	建 設 業	2	2						4		1	3		1	3			4						4			4			4		1	3	
	運 輸 業		1						1			1			1			1						1			1			1			1	
	そ の 他		1									1			1				1					1			1			1			1	
小 計		2	12	6				X			3	15	2	1	16	3	1	11	8		16	4		19	1	1	14	5						
合 計		6	18	16							1	24	4	4	33	3	1	34	5	3	19	18		33	7	1	11	8	2	37	1	1	27	12

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成27年9月～平成28年9月)

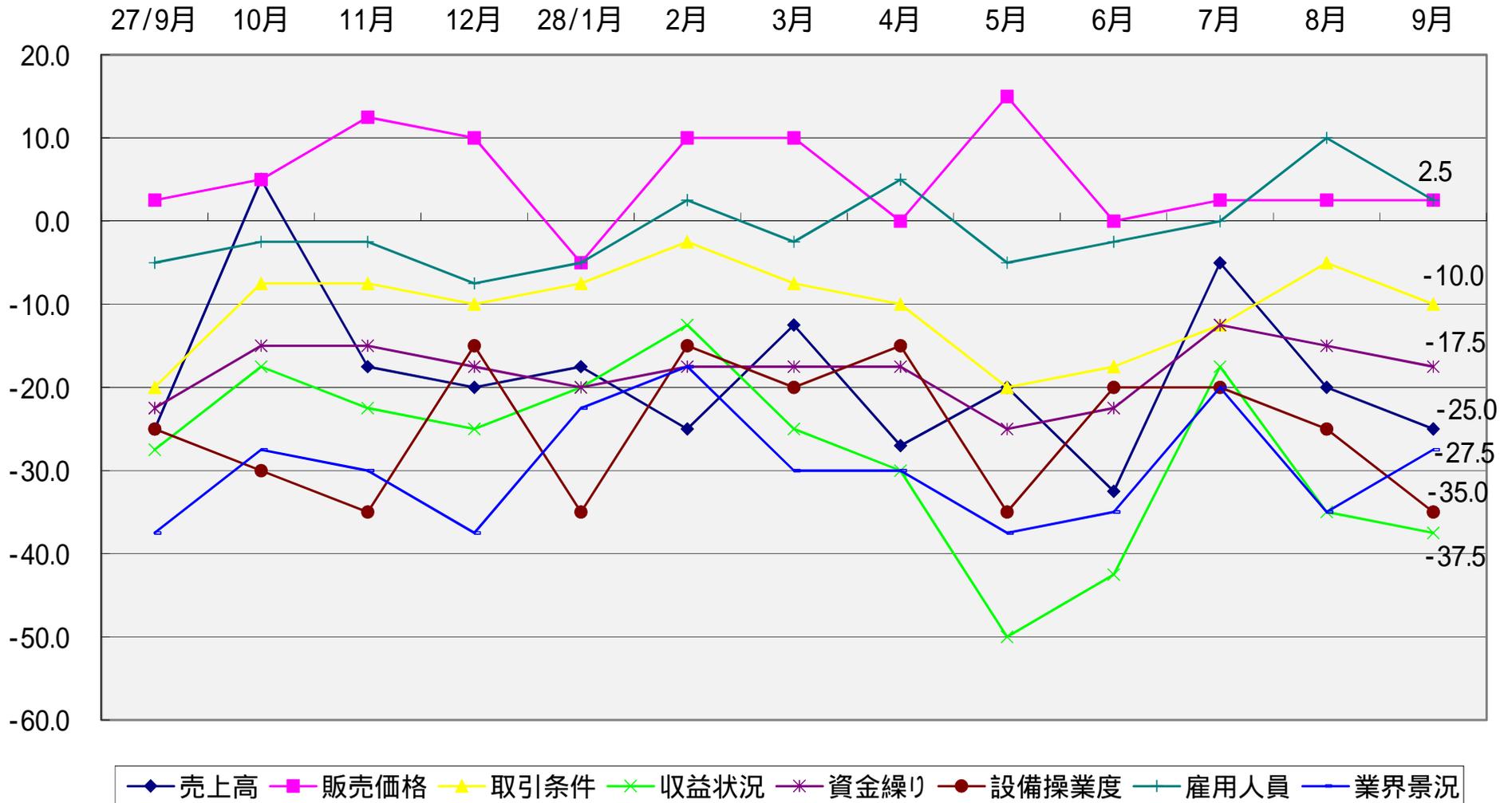
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	27/9月	10月	11月	12月	28/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	増減
売上高	-25.0	5.0	-17.5	-20.0	-17.5	-25.0	-12.5	-27.0	-20.0	-32.5	-5.0	-20.0	-25.0	-5.0
販売価格	2.5	5.0	12.5	10.0	-5.0	10.0	10.0	0.0	15.0	0.0	2.5	2.5	2.5	0.0
取引条件	-20.0	-7.5	-7.5	-10.0	-7.5	-2.5	-7.5	-10.0	-20.0	-17.5	-12.5	-5.0	-10.0	-5.0
収益状況	-27.5	-17.5	-22.5	-25.0	-20.0	-12.5	-25.0	-30.0	-50.0	-42.5	-17.5	-35.0	-37.5	-2.5
資金繰り	-22.5	-15.0	-15.0	-17.5	-20.0	-17.5	-17.5	-17.5	-25.0	-22.5	-12.5	-15.0	-17.5	-2.5
設備操業度	-25.0	-30.0	-35.0	-15.0	-35.0	-15.0	-20.0	-15.0	-35.0	-20.0	-20.0	-25.0	-35.0	-10.0
雇用人員	-5.0	-2.5	-2.5	-7.5	-5.0	2.5	-2.5	5.0	-5.0	-2.5	0.0	10.0	2.5	-7.5
業界景況	-37.5	-27.5	-30.0	-37.5	-22.5	-17.5	-30.0	-30.0	-37.5	-35.0	-20.0	-35.0	-27.5	7.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする  
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成28年9月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物	だいこん漬は、前年比10%程度、量・金額とも増加したが、白菜漬は北海道等への台風の影響もあり、前年比約10%の量・金額の減少となり、全体的には不変で推移した。
		醤油味噌	10月1日の醤油の日を記念した「ふるさとのしょうゆプレゼント」キャンペーンを行うための県内エントリーは13社で、全国では、402点となった。日本醤油協会へ希望の県名を一つ書いて応募すると抽選で402名に当たる。郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を書いてハガキで送るか「しょうゆ情報センター」のホームページからも応募できる。 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町3-11 日本醤油協会「ふるさとのしょうゆプレゼント」事務局 宛
		豆腐	台風の影響で平成28年産国産大豆の収穫に影響が出そうである。
		製麺	夏の時期は、不安定が続いている。業界全般には、厳しい状況である。伊勢うどん関連は、やや増加傾向である。組合での取り組みでは、10月末にJA鈴鹿の「のうきょうまつり」、「蒲郡うどんサミット」、12月に「年明けうどん大会」が開催されて、盛り上げていく。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	台風や長雨のため、日照時間が短くなり、農作物の出荷が減少した。工業製品向け、食品向けの段ボールの動きも昨年を下回っている。
		古紙	9月期の仕入量は、前年比：段ボール・約94±4%位、新聞、チラシ・約92±4%位、雑誌、雑紙、その他合わせて約93%±4%位の中での推移と思う。天気の都合が先月に続き、集荷が悪い。段ボールは、大手流通会社などの顧客と直接の取引が出来にくくなっている。新聞雑誌類の集荷も発生が激減している事と現在様々な回収方法がある事が主な原因であると考えられる。残暑から急な気温の低下で衣替えにちょうど良い頃合いとなり、秋需の季節になったが、少子化と団塊世代の高齢化等による消費の減少は異次元の金融緩和で下支えできているものの景気浮上には至っていない様に思う。しかし、伊勢志摩サミットが無事に開催され、限定的ではあったが、地域・業種・企業の総合力UP・経済的效果等があった事は大変有意義で良かった事である。
	印刷	印刷	10月11日発売の三重県民手帳がようやく完成した。「県民と三重県を繋げる」をコンセプトにコンテンツの見直しや新企画等、三重県民がさらに役立つ情報手帳を目指した。この手帳が県全域の発展向上に貢献できることを期待している。
	窯業・土石製品	伊賀焼	9月は、昨年まで7月の暑い時期に行われていた伊賀焼陶器まつりが23日～25日にかけて行われ、入場者数、売上とも昨年を大きく上回った窯元が多くあった。一方、伊賀焼伝統産業会館と伊賀・信楽古陶館の入館者数及び売上については、昨年と一昨年を大きく下回った。その原因の第一は、NHKのBS放送で土鍋類が放映され、その影響が大きかったのが薄れてきたこと。そして、9月は曇りや雨の日が多かったことも一因と考えられる。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界全体の生産量としては、8月とほぼ同様であった。自動車関連、建築物は同様の状況が続いており、暫くはこの傾向が続くものと予想される。電気関連は、日本のメーカーの不振から増産には至らない。半導体関連は、8月同様まだまだ増加傾向にあり、人出不足も解消されていない。派遣等の非正規雇用者もなかなか集まらず苦慮している。当面はこの状況が続くそうである。
	一般機器	四日市	中小企業にとって景気回復の実感が得られぬまま年初から9か月が経過した。組合員各社は、各様の努力で企業存続に努めている。環境は円高や原材料価格の高騰が重くのしかかっている。
	電気機器	鳥羽	上半期の下ということで、単発的に受発注が増加している。継続性がある事を望みたい。
	輸送機器	鈴鹿	熊本地区からの製品移管があった企業では、その対応で慌たしいとのこと。一方で、熊本地区の全面稼働の応援で、要員を送り込む必要のある企業もあり、人材派遣会社への需要が高まっている。
	非製造業	小売業	青果
自転車			台風、長雨の影響により、商品、修理部門とどちらも昨年比 - 30%の売上となった。同時に各メーカーからの仕入れがなく、又、在庫があるため、新商品を展示できない状況となっている。組合創立60周年を迎え、組合員に記念の品を考えた結果、各店主も高齢化となった今、未永く店を続けていただく様に工具台付作業椅子を贈ることとした。秋には、サイクルスポーツフェスティバル等の自転車競技大会が数多く開催される。多くの参加を期待している。

非製造業	小売業	家電	残暑が続く中、地域電器店は、秋から年末の最需要期に備え、お客様との接点活動に重点を置き、総顧客訪問活動を展開している。高齢者宅の電気製品の点検訪問活動や省エネ商品LED商品の提案など各キャンペーンの実践活動や地域毎に秋の合同展示会を開催し、新製品の紹介や実演訴求を実践、需要の獲得に向けた取り組みを推進している。
		石油	9月は台風と天候不順の影響において、燃料油販売数量前年対比3%～4%前後の減販、さらにSSの油外商品として洗車販売が大幅に落ち込んだため、かなり収益面において厳しい状況で終わった。特にガソリン販売数量においては、出来る限り前年対比を維持すること、油外商品の販売強化を行っていきたい。
		スポーツ用品	夏休みが終わり、新学期が始まった。組合員の店では、新チームのユニホーム等の受注と納品に忙しい。ここにきて、商品の仕入れ時の運賃がかなり高くなってきた。特に卓球台の運賃が業界内で決めたのが、1体9,000円程かかる。又、大きい体操マットの場合、運賃が20,000円程のものがあり、これを商品に転嫁しにくく困っている。
	商店街	熊野	商店街内で毎月開催の朝市イベントは、近隣地区、数校の運動会が重なったため、普段より集客が少なく、売上も従来より少なかった。今後の課題としては、この時期の集客をどうやって増やしていくかが今後の課題かと感じる。また、来月中旬には、商店街を含めた市街周辺の飲食店関連にて食べ歩きイベント「熊野バル」が開催される予定である。600円5枚綴りで現在前売りチケットを販売しており、概ね好評のようである。
	サービス業	旅館	昨年は、地域振興券の効果と伊勢志摩サミット決定の余波もあり、大きな災害があっても、前年を少し上回る実績であった。今年は相次ぐ台風情報のため客足は伸ばせなかったが、昨年の様な好材料がない中であっても、昨年並の集客が出来たことは、全般的に好調であった。また、9月初旬に発表された大手エージェンツの先行予約状況では、第3四半期（10、11、12月）は、伊勢志摩を含む三重県は中部地方で最も好調に予約を伸ばしていると発表があった。
		警備	いつもの事ながら受注分、社員不足で売上は増加とならない現状である。
	建設業	内装工事業	売上等対前年同月比では、かなり増加になったが、今年度の動きは、上下動がかなり激しく、10月以降浮き沈みがあると思われる。
		水道工事業（四日市）	今月に関しては、特に大きな変化は見られなかった。9月は台風の時期ということもあり、外部での工事においては、多少雨の影響を受け、工事が遅れるということが散見された。
	運輸業	トラック	燃料価格が、やや上昇傾向にあり、収益を減少させている。

### 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	イベント行事の助成金があれば教えてほしい。
一般機器	四日市	毎年、国、県、市、町へ多くの陳情を行っている。数年間にわたり、繰り返し上程している項目も多い。関係各位の理解と支援を切望する。
	伊勢	追加の経済政策（政府系金融機関の制度融資の拡充等）で、中小企業にとって有益となるものは、早期に周知願いたい。
サービス業	旅館	サービス産業の生産性の向上が叫ばれている中、今年もまた最低賃金が大幅に上がったことは、サービス業の様な拘束時間と実働時間の差が大きい業種は負担増になる。諸外国の様に業種別に調整の可能な制度化を要望する。
運輸業	トラック	内需拡大のための施策を講じられたい。